

# 北神宮寺遺跡通信 No. 1

きたじんぐうじいせき つうしん

2007年8月20日

## ■ 発掘調査を再開しました

北神宮寺遺跡は、井伊谷7区にあり、涓伊神社がある丘陵から南東に広がる大規模な遺跡です。遺跡の調査は、浜松市井伊谷土地区画整理組合の委託を受け、過去4年間（03,04年は引佐町教育委員会、05年からは浜松市と浜松市文化振興財団）発掘調査が行われてきました。そして、今回8月から12月までの計画で、5年目の調査(最終年)を実施します。



調査地周辺地図



調査地の現状:北西方向(涓伊神社方向)からの様子



前回の調査の様子



縄文時代の鍬と石剣



弥生時代の壺



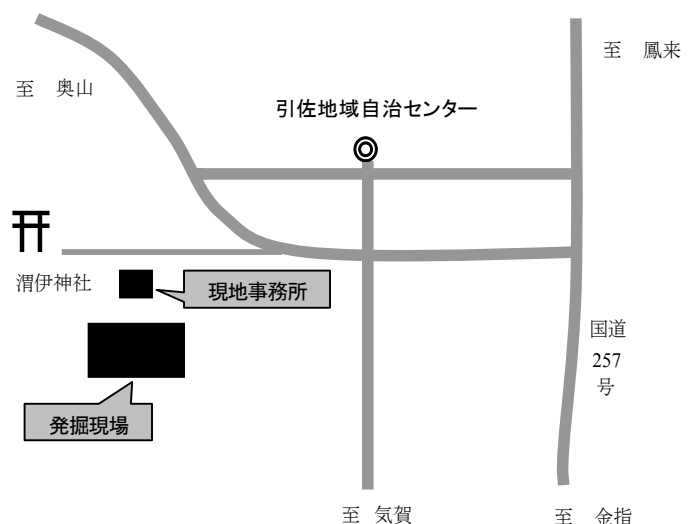
集落の跡(古墳時代)

前回の調査では、縄文時代から近現代にいたる人々の生活の痕跡が見つかりました。特に、弥生時代後期（1800年前頃）の墓や、古墳時代初頭（1700年前頃）の集落跡の様子がよく分かりました。また、縄文時代の石の鍬・石棒、古墳時代から中近世にいたる幅広い時代の土器・陶器等、数多くの遺物も発見されました。

今回の調査でも、引佐の歴史を考えるうえで貴重な発見がなされるものと期待しています。発掘調査にあたって、地域の皆様にはご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## ■ 遺跡の見学について

遺跡の発掘作業は平日、午前8時45分～午後4時45分に実施しています（雨天時は作業を休止します）。作業時間内でしたら、調査現場は見学いただけます。なお、現地は危険な箇所がありますので、作業時間以外の調査地内への立ち入りはご遠慮願います。



編集発行  
現地連絡先

浜松市埋蔵文化財調査事務所  
北神宮寺遺跡調査事務所

TEL485-3465  
TEL542-3990